

平和教育の取組事例報告書

報告年月日 令和4年3月30日
 都市名・国 新潟県 上越市

取組の名称	平和記念公園における平和学習
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input checked="" type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	太平洋戦争中に直江津捕虜収容所で起きた悲劇を語り継ぎ、戦争や平和について考える機会を提供する。
対象者 (年齢・学年、人数等)	市民ほか
実施場所	平和記念公園及び展示館
実施期間	通年
<p>取組の概要 (授業、イベントはプログラムの次第を、その他 (例: コンテスト等) はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 太平洋戦争中、現在の上越市川原町に捕虜収容所が設置され、過酷な労働や少ない食事、劣悪な衛生環境であったことからオーストラリア兵捕虜等 61 名が亡くなり、終戦後には、横浜軍事裁判でその罪に問われた捕虜収容所の職員 8 名が処刑されるという悲惨な出来事が起こった。 この悲劇を後世に伝え、未来への平和と友好を誓うため、捕虜収容所があった跡地に、市民と市が協力し、戦後 50 年の節目となる平成 7 年に平和記念公園を造成し、ここを活動拠点とする上越日豪協会がこれらの出来事を伝える活動を行っている。 公園敷地内の展示館には直江津捕虜収容所事件、カウラ事件、元オーストラリア兵捕虜との交流や平和記念公園造成までの出来事を伝えるパネルのほか、関連する実物資料が展示されている。 	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> 上越市内にも戦争による悲惨な歴史があることを始めて知った。 平和記念公園造成は貴重な市民活動の成果であり、関係者のご尽力に敬意を表したい。 戦争の惨たらしい結末に絶句した。和平の姿を大切に。二度と戦争が起きないことを願う。 	
<p>成果</p> <p>例年、約 1,000 人の方々が来園されており、戦争の悲惨な歴史だけでなく、悲劇を乗り越え、世界平和と友好を願う活動について広く発信している。</p>	
<p>課題</p> <p>上越日豪協会会員の高齢化が進み、個人所有の資料や展示館内資料の整理を行う必要があり、また、デジタルでの資料保存も検討する必要がある。</p>	
<p>取組で使用した素材について (図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>実物資料、関連資料のパネル、パンフレット</p>	
<p>上記素材の共有の可否 (取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合はメールに添付して提出してください。